

第8期介護保険事業計画における認定者数等のモニタリングについて

第8期介護保険事業計画における認定者数、認定率、サービスの種類別の給付実績について、計画値と実績値の乖離状況とその要因について考察しました（モニタリング）。

1	要介護認定者数と認定率	p.1
2	サービス別利用者数と回数	p.2
3	介護給付費、介護予防給付費	p.3

鎌ヶ谷市高齢者支援課

令和6年11月

1 要介護認定者数と認定率

■認定者数の推移（※第1号被保険者のみの値）

単位：人

		第8期			
		R3	R4	R5	R7
計画値	合計（人）	5,313	5,539	5,784	6,257
	要支援1	760	790	822	888
	要支援2	685	713	743	803
	要介護1	1,198	1,246	1,301	1,401
	要介護2	848	886	926	1,002
	要介護3	770	806	844	917
	要介護4	623	651	683	745
	要介護5	429	447	465	501
	認定率	17.0%	17.7%	18.5%	20.1%
実績値	合計（人）	5,382	5,606	5,600	-
	要支援1	811	766	649	-
	要支援2	694	692	718	-
	要介護1	1,220	1,364	1,329	-
	要介護2	790	825	900	-
	要介護3	760	799	765	-
	要介護4	681	729	733	-
	要介護5	426	431	506	-
	認定率	17.1%	17.9%	17.9%	-
対計画比	合計（%）	101.3%	101.2%	96.8%	-
	要支援1	106.7%	97.0%	79.0%	-
	要支援2	101.3%	97.1%	96.6%	-
	要介護1	101.8%	109.5%	102.2%	-
	要介護2	93.2%	93.1%	97.2%	-
	要介護3	98.7%	99.1%	90.6%	-
	要介護4	109.3%	112.0%	107.3%	-
	要介護5	99.3%	96.4%	108.8%	-

（出典）（実績値）厚生労働省「介護保険事業状況報告」9月月報

（計画値）介護保険事業計画にかかる保険者からの報告値

（介護サービス見込み量）

モニタリング日：令和6年9月30日

考察＜計画値と実績値との乖離について＞

・令和5年については、合計人数で96.8%と計画を下回り、令和4年と比較して6人減少し、要支援1、要介護4・要介護5においてその乖離が顕著となっている。要因としては、要支援1、要介護1、要介護3の人数が減少し、要支援2、要介護2、要介護4、要介護5の人数が増加していることから、高齢者が重度化していると考えられるため、重度化防止の取り組みの推進が必要となってくる。

・認定率についても、計画値を0.6ポイント下回っている。

要支援1の乖離が顕著であり、要支援の高齢者が減少しているため、要支援から要介護に重度化した高齢者が一定数いたと思われる、このような状況に対応していくためには、介護予防事業（ちょ筋教室、柔体操、各地区での体操教室等）や高齢者の社会参加の促進（談話室事業、老人憩の家等）等、介護予防の推進が図られてくことで改善していくことが必要であると考えられる。

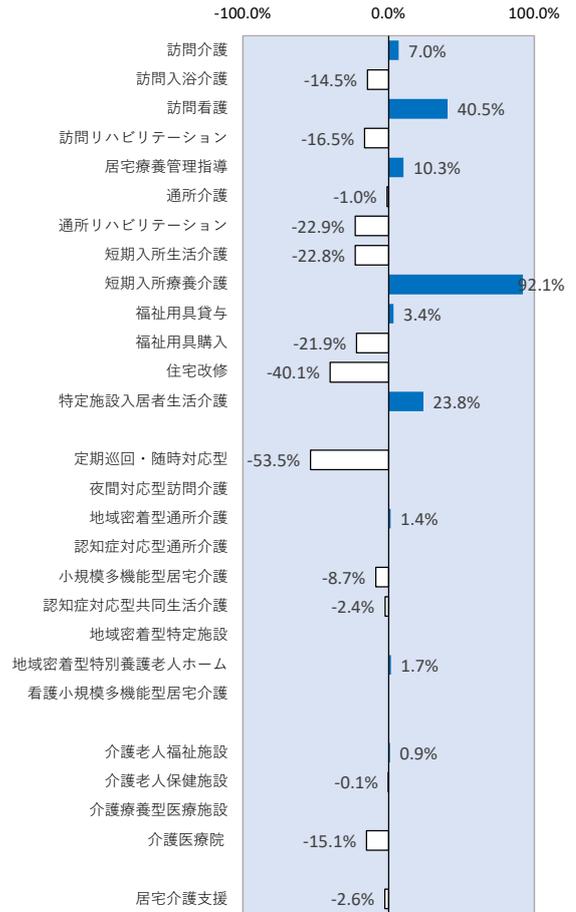
また、要介護4の乖離については、令和3年度から継続しており、令和5年度は要介護5においても計画を大きく上回っているため、重度の要介護者の増加が顕著になっている。

2 サービス別利用者数と回数

●介護給付

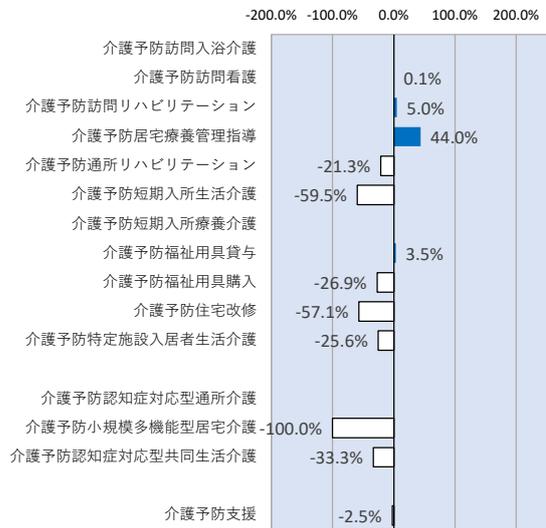
	単位	令和5年度 実績 (A)	令和5年度 計画値 (B)	対計画比 (A) / (B)
(1) 居宅サービス				
訪問介護	回/年	227,101	212,323	107.0%
訪問入浴介護	回/年	4,259	4,981	85.5%
訪問看護	回/年	56,849	40,474	140.5%
訪問リハビリテーション	回/年	21,633	25,906	83.5%
居宅療養管理指導	人/年	10,548	9,564	110.3%
通所介護	回/年	144,527	146,038	99.0%
通所リハビリテーション	回/年	29,899	38,802	77.1%
短期入所生活介護	日/年	53,309	69,067	77.2%
短期入所療養介護	日/年	1,946	1,013	192.1%
福祉用具貸与	人/年	19,874	19,224	103.4%
福祉用具購入	人/年	356	456	78.1%
住宅改修	人/年	266	444	59.9%
特定施設入居者生活介護	人/年	1,961	1,584	123.8%
(2) 地域密着型サービス				
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人/年	67	144	46.5%
夜間対応型訪問介護	人/年	0	0	0.0%
地域密着型通所介護	回/年	46,280	45,640	101.4%
認知症対応型通所介護	回/年	99	0	0.0%
小規模多機能型居宅介護	人/年	241	264	91.3%
認知症対応型共同生活介護	人/年	726	744	97.6%
地域密着型特定施設入居者生活介護	人/年	0	0	0.0%
地域密着型介護老人福祉施設入 看護小規模多機能型居宅介護	人/年	244	240	101.7%
看護小規模多機能型居宅介護	人/年	115	0	0.0%
(3) 施設サービス				
介護老人福祉施設	人/年	6,165	6,108	100.9%
介護老人保健施設	人/年	3,249	3,252	99.9%
介護療養型医療施設	人/年	0	0	0.0%
介護医療院	人/年	581	684	84.9%
(4) 居宅介護支援				
居宅介護支援	人/年	31,509	32,352	97.4%

実績値と計画値の乖離状況
(サービス量)



●介護予防給付

	単位	令和5年度 実績 (A)	令和5年度 計画値 (B)	対計画比 (A) / (B)
(1) 介護予防サービス				
介護予防訪問入浴介護	回/年	0	0	0.0%
介護予防訪問看護	回/年	4,897	4,890	100.1%
介護予防訪問リハビリテーション	回/年	2,850	2,713	105.0%
介護予防居宅療養管理指導	人/年	743	516	144.0%
介護予防通所リハビリテーション	人/年	925	1,176	78.7%
介護予防短期入所生活介護	日/年	105	259	40.5%
介護予防短期入所療養介護	日/年	16	0	0.0%
介護予防福祉用具貸与	人/年	4,309	4,164	103.5%
介護予防福祉用具購入	人/年	79	108	73.1%
介護予防住宅改修	人/年	134	312	42.9%
介護予防特定施設入居者生活介護	人/年	116	156	74.4%
(2) 介護予防地域密着型サービス				
介護予防認知症対応型通所介護	回/年	0	0	0.0%
介護予防小規模多機能型居宅介護	人/年	0	12	0.0%
介護予防認知症対応型共同生活介護	人/年	8	12	66.7%
(3) 介護予防支援				
介護予防支援	人/年	5,522	5,664	97.5%



資料：介護保険事業状況報告（年報）、第8期介護保険事業計画
モニタリング日：令和6年9月30日

考察

・令和5年度のサービス利用者数・回数については、介護予防サービスで計画値に対して、100%を割り込む結果が多く見られた。これは、要支援1、要支援2の認定者数が計画値を下回っており、需要が縮小していたことが主要因として考えられる。また、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、住宅改修、福祉用具購入は、介護給付・介護予防給付共に令和5年度は低調であった。

・介護給付では、令和4年度と傾向は継続しているが、訪問介護、訪問看護、居宅療養管理指導、短期入所療養介護で計画値を大きく上回っており、在宅介護者の医療系ニーズが高かったことが主要因として考えられる。また、要介護1、要介護4、要介護5の高齢者が計画値を上回っており、訪問介護、訪問看護、短期入所療養介護の増加につながっていると考えられる。

・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所、(介護予防)小規模多機能型居宅介護事業所において下回っている要因は、サービスを提供している事業所が市内に1事業所ずつであり、その事業所内でも複数のサービスを提供している中で、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、(介護予防)小規模多機能型居宅介護の利用者数が伸び悩んでいることが要因として考えられる。なお、小規模多機能型居宅介護の利用者数は伸び悩んでいる中でも改善傾向にある。

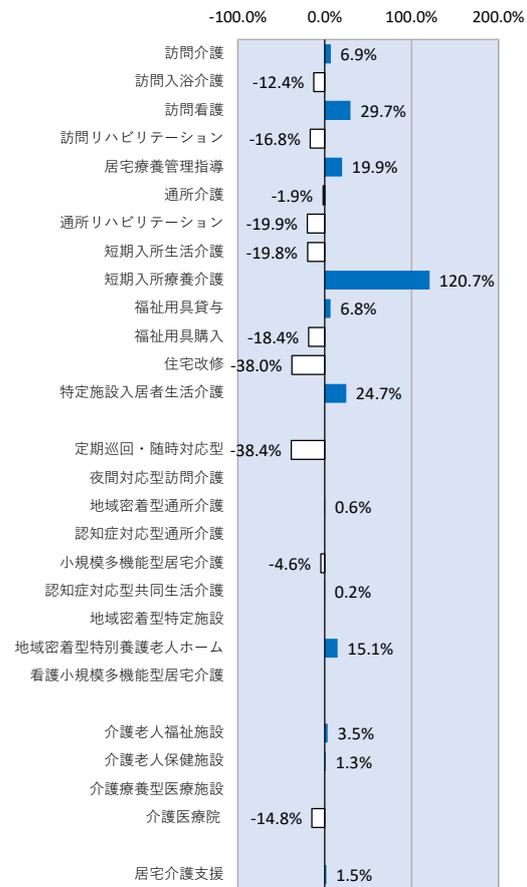
3 介護給付費、介護予防給付費

●介護給付費

単位：千円

	令和5年度 実績 (A)	令和5年度 計画値 (B)	対計画比 (A) / (B)
(1) 居宅サービス			
訪問介護	716,590	670,302	106.9%
訪問入浴介護	54,970	62,781	87.6%
訪問看護	257,332	198,482	129.7%
訪問リハビリテーション	62,470	75,123	83.2%
居宅療養管理指導	128,125	106,868	119.9%
通所介護	1,145,235	1,167,163	98.1%
通所リハビリテーション	258,987	323,465	80.1%
短期入所生活介護	464,212	579,116	80.2%
短期入所療養介護	23,764	10,767	220.7%
福祉用具貸与	284,348	266,296	106.8%
福祉用具購入	12,254	15,012	81.6%
住宅改修	25,302	40,806	62.0%
特定施設入居者生活介護	400,651	321,328	124.7%
(2) 地域密着型サービス			
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	14,044	22,805	61.6%
夜間対応型訪問介護	0	0	0.0%
地域密着型通所介護	341,761	339,854	100.6%
認知症対応型通所介護	1,376	0	0.0%
小規模多機能型居宅介護	49,910	52,316	95.4%
認知症対応型共同生活介護	197,387	197,082	100.2%
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0.0%
地域密着型介護老人福祉施設入 居者生活介護	66,482	57,771	115.1%
看護小規模多機能型居宅介護	27,647	0	0.0%
(3) 施設サービス			
介護老人福祉施設	1,727,164	1,667,979	103.5%
介護老人保健施設	951,289	939,048	101.3%
介護療養型医療施設	0	0	0.0%
介護医療院	204,379	239,975	85.2%
(4) 居宅介護支援			
居宅介護支援	492,312	484,799	101.5%
計	7,907,991	7,839,138	100.9%

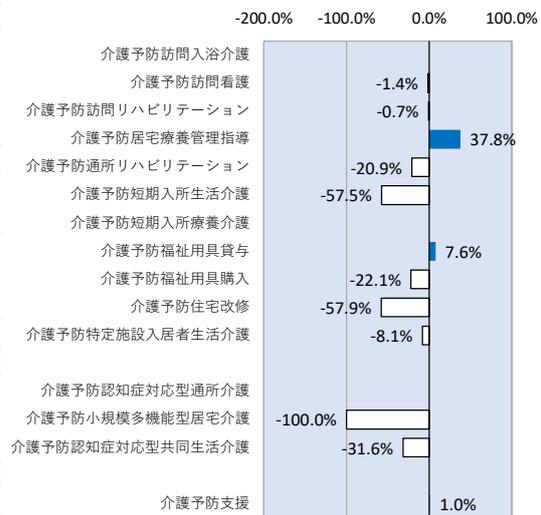
実績値と計画値の乖離状況
(給付費)



●介護予防給付費

単位：千円

	令和5年度 実績 (A)	令和5年度 計画値 (B)	対計画比 (A) / (B)
(1) 介護予防サービス			
介護予防訪問入浴介護	0	0	0.0%
介護予防訪問看護	18,699	18,959	98.6%
介護予防訪問リハビリテーション	7,820	7,875	99.3%
介護予防居宅療養管理指導	6,988	5,071	137.8%
介護予防通所リハビリテーション	31,814	40,208	79.1%
介護予防短期入所生活介護	725	1,707	42.5%
介護予防短期入所療養介護	156	0	0.0%
介護予防福祉用具貸与	23,479	21,816	107.6%
介護予防福祉用具購入	2,452	3,146	77.9%
介護予防住宅改修	14,859	35,299	42.1%
介護予防特定施設入居者生活介護	8,334	9,066	91.9%
(2) 介護予防地域密着型サービス			
介護予防認知症対応型通所介護	0	0	0.0%
介護予防小規模多機能型居宅介護	0	635	0.0%
介護予防認知症対応型共同生活介護	2,034	2,972	68.4%
(3) 介護予防支援			
介護予防支援	26,430	26,169	101.0%
計	143,790	172,923	83.2%



資料：介護保険事業状況報告（年報）、第8期介護保険事業計画
モニタリング日：令和6年9月30日

考察

・令和5年度の給付費については、介護予防サービスで計画値に対して、100%を割り込む結果が多く見られた。これは、要支援1、要支援2の認定者数が計画値を下回っており、需要が縮小していたことが主要因として考えられる。また、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、住宅改修、福祉用具購入は、介護給付・介護予防給付共に令和5年度は低調であった。

・介護給付では、令和4年度と傾向は継続しているが、訪問介護、訪問看護、居宅療養管理指導、短期入所療養介護で計画値を大きく上回っており、在宅介護者の医療系ニーズが高かったことが主要因として考えられる。また、要介護1、要介護4、要介護5の高齢者が計画値を上回っており、訪問介護、訪問看護、短期入所療養介護の増加につながっていると考えられる。

・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所、(介護予防)小規模多機能型居宅介護事業所において下回っている要因は、サービスを提供している事業所が市内に1事業所ずつであり、その事業所内でも複数のサービスを提供している中で、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、(介護予防)小規模多機能型居宅介護の利用者数が伸び悩んでいることが要因として考えられる。なお、小規模多機能型居宅介護の利用者数は伸び悩んでいる中でも改善傾向にある。